

耐震診断結果の公表(幼稚園・保育所)

香南市立幼稚園・保育所の耐震診断結果を公表します

幼稚園・保育所は、幼い子どもたちが一日の大半を過ごす場であるとともに、その多くが台風・震災等の非常災害時には地域住民の避難場所としての役割もあります。

このため、施設の安全性を確保するには耐震化をすすめることが極めて重要であることから、建築基準法の改正(昭和56年6月)前の基準で建築された園舎等の建物で、非木造の2階建て以上または延べ床面積が200平方メートル以上の建物について耐震診断を実施し、耐震補強が必要と認められる建物の補強を順次行っています。

上記条件の対象となる幼稚園・保育所の平成23年7月1日現在の結果について、公表いたします。

耐震診断結果等一覧表(平成23年7月1日現在)

小学校名	区分	建築年月	構造	階数	面積 m ²	第2次診断		改修 年度	改修後 のIS値	備考
						実施年度	IS値			
香我美幼稚園	園舎	S55. 12	R	1	520	H17	0.97			
野市東幼稚園	園舎	S56. 1	R	2	412	H21	0.51	H22	0.80	
	園舎	S63. 8	R	2	153					対象外年度建築だが、構造上、上記棟と同一で耐震診断
吉川みどり保育所	園舎	S50. 1	R	1	601	H19	1.05			

※一覧表には建築基準法の改正(昭和56年6月)前の基準で建築された建物のみ掲載しています。

各施設の耐震診断結果表の用語等について

- 耐震診断 地震に対する安全性を評価すること。
- 第2次診断 柱・壁・コンクリート強度・鉄筋量等から建物の強さと粘りを推定する診断方法。
- IS(あいえず)値 地震に耐えられる能力としての建物の強さ、地震の力を受け流す能力としての建物の粘りの二つに、建物の形状・経年変化を考慮して、耐震診断基準による計算式により求められる。

【IS値の目安】

IS値0. 3未満

大規模な地震の震動及び衝撃に対し倒壊または崩壊する危険性が高い

IS値0. 3以上0. 6未満

大規模な地震の震動及び衝撃に対し倒壊または崩壊する危険性がある

IS値0. 6以上

大規模な地震の震動及び衝撃に対し倒壊または崩壊する危険性が低い

なお、文部科学省では、耐震補強後のIS値はおおむね0. 7を越えることとしています。

また、大規模な地震とは、震度6強から震度7程度の地震を想定しています。

- 構造 R 鉄筋コンクリート造
S 鉄骨造